

9-3.北陸3県の訪日外国人旅行消費額の推移

(億円)

	2018年		2019年		2020年　1～3月期		2023年　4～12月期		2024年		2025年	
	全目的	うち観光・レジャー目的	全目的	うち観光・レジャー目的	全目的	うち観光・レジャー目的	全目的	うち観光・レジャー目的	全目的	うち観光・レジャー目的	全目的	うち観光・レジャー目的
全都道府県計	40,720	29,381	43,650	31,053	6,375	3,995	38,724	29,640	72,166	58,196	86,419	71,611
北陸三県	314	219	313	240	44	27	271	208	530	415	631	523
富山県	101	73	98	73	13	5	65	47	132	100	147	115
石川県	190	139	195	158	27	20	194	152	370	302	446	390
福井県	23	6	21	10	4	2	12	9	28	13	37	18

出所：観光庁「インバウンド消費動向調査（旧訪日外国人消費動向調査）」より作成

注) 本表の「旅行消費額」には団体・バックツアー料金に含まれる訪問地収入分が含まれる。都道府県別の「旅行消費額」には都道府県間交通費は含まれない。

注) 2021年10～12月期は東京国際空港、成田国際空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港の5空港のみで調査を実施し、試算値として、全国籍・地域の数値のみ公表のため、都道府県別の数値はない。

注) 2022年1～3月期は東京国際空港、成田国際空港、関西国際空港、福岡空港の4空港のみで調査を実施し、試算値として、全国籍・地域の数値のみ公表のため、都道府県別の数値はない。

注) 2022年4～6月期は東京国際空港、成田国際空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港の5空港のみで調査を実施し、試算値として、全国籍・地域の数値のみ公表のため、都道府県別の数値はない。

注) 2022年7～9月期は新千歳空港、東京国際空港、成田国際空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港、那覇空港の7空港のみで調査を実施し、試算値として、全国籍・地域の数値のみ公表のため、都道府県別の数値はない。

注) 2022年10～12月期、2023年1～3月期の調査については都道府県別の数値は公表されていない。

注1) 本表の「旅行消費額」には団体・バックツアー料金に含まれる訪問地収入分が含まれる。都道府県別の「旅行消費額」には都道府県間交通費は含まれない。

注2) 本表はB1地域調査から算出している。B1地域調査については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、従来に比べて入国者数が少なく、統計精度が担保できないことから2020年4～6月期～2023年1～3月期まで調査を中止していた。

そのため、本表の集計対象期間は2023年4～12月期となり、各集計値は暦年の傾向を反映したものではない。

また、訪日旅行や航空便が回復途上にあることから、回収数が目標を大幅に下回ったため、標準誤差率が大きい都道府県には留意されたい。